

図1 調査海域である雄武(オホーツク海)と小平(日本海)の位置

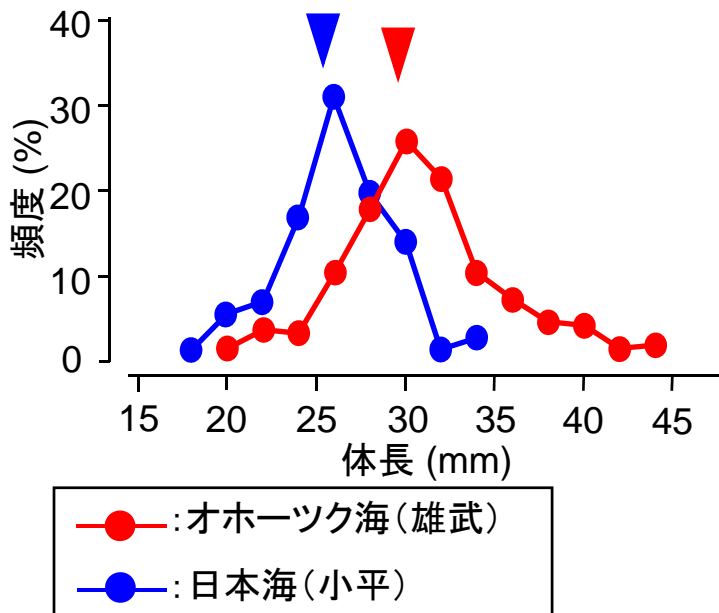


図2 海域ごとのマガレイ稚魚の採集時の体長(三角形は平均値の位置)

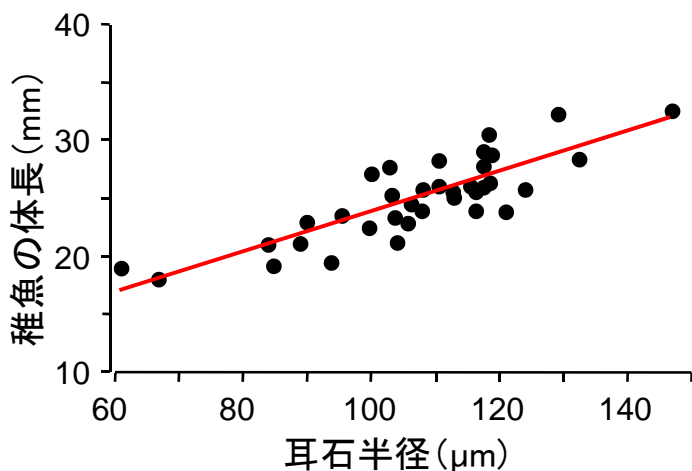


図3 稚魚の耳石半径と体長の関係(例として、2006年小平採集分)

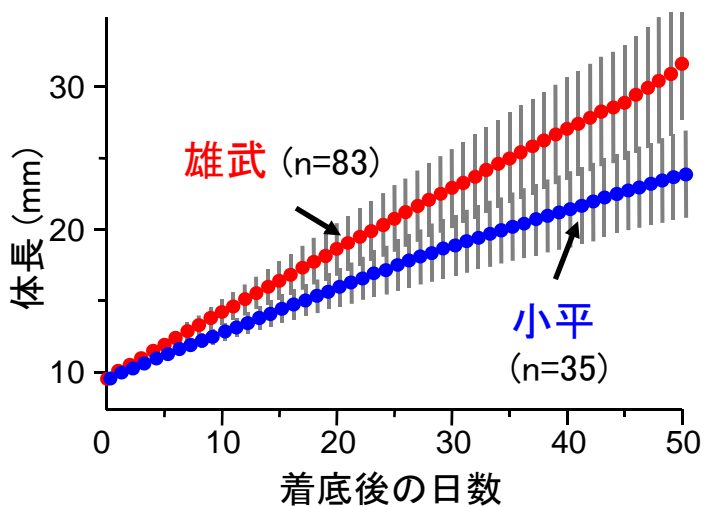


図4 海域ごとの稚魚期成長履歴(平均値とSD)